

## 会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

平成31年3月15日

光市議会議長 西村憲治様

光市議会会派『新風会』



代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

### 記

- 1 視察年月日 平成31年1月23日～1月25日（2泊3日）
- 2 調査市等 福井県庁、京都府福知山市、京都府京丹後市
- 3 調査結果 別紙のとおり

# 新風会視察報告書

日時	平成31年1月23日（水） 14時00分～16時00分
調査市名	福井県庁
テーマ	婚活支援について
調査市人口・面積	773,735人 4,190.49km <sup>2</sup>
区議会議員定数	37名（4常任委員会）
概要	<p>○この視察テーマを決めた理由</p> <p>少子化対策を実施しているが、なかなか歯止めがかからない。何故か！          少子化の最大の要因は、「未婚化・晩婚化の進展だ」。若者たちは、結婚を望んでいます。          しかし、その希望がかなえられていないのです。          今まで、行政はプライベートな事には立ち入らない姿勢でしたが、これからは積極的に「婚活支援」を進めて行くべきだと思うからです。</p> <p>○視察先を福井県庁に決めた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国、幸福度ランキング 5年連続（全国 No.1）</li> <li>・ 生涯未婚率 女性（全国 No.1） 男性（全国 No.3）</li> <li>・ 合計特殊出生率 1,62（全国 No.10）</li> <li>・ 女性の労働力人口比率（全国 No.1）</li> <li>・ 女性の正規雇用率（全国 No.2）</li> <li>・ 共働き世帯率（全国 No.1）</li> <li>・ 全国で一番最初に婚活支援事業 「迷惑ありがた縁結び」活動を推進</li> <li>・ 成婚数              平成27年度 74組              平成28年度 101組              平成29年度 133組              平成30年度 92組（11月現在 ・前年度比16,5%増）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

所感	<p>「迷惑ありがた縁結び」事業は、西川県知事の発案であり、総合政策部女性活躍推進課で確実に実施されています。</p> <p>年々、支援事業が充実し成果が上がっています。この政策を取り入れて行くべきだと考えます。</p>
----	--

日時	平成31年1月24日（木） 14時00分～16時00分
調査市名	京都府福知山市
テーマ	行財政改革 「全事業の棚卸し」
調査市人口・面積	78,396人 552.54km <sup>2</sup>
区議会議員定数	24名（6常任委員会）
概要	<p>2010年、民主党政権が誕生して、「事業仕分け」が一躍、喝采を浴び、連日のようにマスコミをにぎわした。</p> <p>しかし、最近「事業仕分け」という話題を全く聞かなくなりました。</p> <p>先日、全国自治体の行革についての政策を探しておりますと、兵庫県福知山市の「全事業の棚卸し」という政策が目にとまりました。調べて見ますと、2002年頃から行われた、「シンクタンク構想日本」によつての事業仕分けとは違う仕分けが実行されていました。</p> <p>よい成果が出ていることですので視察先に決めさせていただきました。</p> <p>一期目の市長のマニフェストとして実施された政策でした。</p> <p>項目ごとにまとめさせていただきました。</p> <p>○ 「全事業の棚卸し」とは！</p> <p>外部の視点による成果等を検証できておらず、効果的な事業の見直しができないため。</p> <p>○ 目的</p> <p>各事業の課題を明らかにし、施策及び事業を効率的、効果的なものに作り変えるため。</p> <p>○ 取り組み内容</p> <p>事務事業をCAPDサイクルの「チェック」の過程において、その一環として、一部を公開</p> <p>事業検証として実施して幅広く検討を行う。</p> <p>○ 実施にあたって</p> <p>行政改革への高い専門性を有する外部有識者を行政改革推進委員に選出し、意見を頂きます。</p> <p>また、公開事業検証では、公開の場で事業の方向性について意見を頂きます。</p> <p>○ 基本的な視点</p> <p>ゴールを、具体的な成果（指標）として見通せるか</p> <p>前例主義ではなく、時代の変化を的確にとらえられているか</p> <p>最も有効な方策、手段であると、言い切れるか</p>

○ 実施状況

年度	事業実施件数
平成28年度	132件
平成29年度	386件
平成30年度	400件
平成31年度	200件
合計	1,118件

○ 効果

事業の本来目的を適切に見極め、実施事業そのものの「質の向上」を図ることにつながる。

構成メンバーに「若手職員」を積極的に起用し、所管部署とは違う事業に触れることにより、幅広い視点を養うとともに、政策立案に必要な基礎を学ぶ職員の研修の場となっています。

○ 事業棚卸しに参加した若手職員の意見・感想

目的が明確な事業は、わかりやすいが、事業の意図がはっきりしない事業には、何頭の課題があつたりするように感じる。

他課の事業を知らないことを痛感した。

他課の事業がどのようなもので、どんな目的をもち、そのために、どんな取り組みをしているのか知ることを通じて勉強させて頂いている。

棚卸しを通じて自課の事業の必要性・有効性・効率性について見直しのきっかけになった。

○ 公開事業検証について

一部の事業について、市民に広く公開して実施するもの。

透明性を高め、市民の市政への理解促進、信頼感の醸成を図るため。

公開の場で、事業の課題や改善点が明らかになる事が事業改善の原動となります。

○ 検証結果について

検証結果の区分	考え方
「あり方の見直しが妥当」	「必要性・有効性・効率性の観点から課題が多く、あり方からの見直しが必要」
「実施方法の見直しが妥当」	「実施方法の見直しが必要」
「現行通りの実施が妥当」	「現行通り」

以上が視察のまとめです。



所感

まだ、本市において一度も「事業仕分け」が行われていないようですので、取り組んでみてはいかがでしょうか！

日時	平成31年1月25日（金） 10時00分～11時30分
調査市名	京都府京丹後市
テーマ	婚活支援事業 「京丹後市婚活支援センター（出会いは京丹後）」
調査市人口・面積	55,180人 501.43km <sup>2</sup>
区議会議員定数	22名（4常任委員会）
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動内容 婚活に役立つ情報の提供——ホームページでは、婚活イベント情報の発信。結婚によるIターン・Uターン者の丹後での暮らしの紹介。世話やき隊やサポート企業の紹介。</li> <li>○ 世話やき隊について 「世話やき隊」に応募され、研修を受講した市内の16名の方を任命し、出会いや結婚を望んでいる方やその家族に、出会い交流イベントや恋愛・結婚に関するセミナー情報など、婚活に役立つ情報を中心とした活動。 希望があれば出会い交流イベント運営協力を行うとともに、いべんとに参加者に声をかけたり、相談に乗りながらカップル成立にむけた応援。 また、定期的に意見交換会を開いており、情報と経験を共有することで「世話やき力」を向上させている。</li> <li>○ 「恋話会」と「恋愛塾」の開催 結婚に関する相談や情報交流の場として茶話会「恋話会」を年に4回、また、チャンスをつかすための「恋愛塾」を開催。</li> <li>○ 婚活サポート企業による応援 婚活サポート企業として登録いただき、ポスターやチラシを掲示して、「出会いは、京丹後」や出会い交流イベントなどの婚活に関する情報発信に協力。（現在、31社）</li> <li>○ 出会い交流イベントを行う地域団体との連携 他市の婚活支援センターにイベント情報を依頼することもある。</li> <li>○ 課題 京丹後市だけでは、うまくいかない！ 婚活をされている市との連携を図ることが、大切！ 「婚活支援センター設置要綱」・「婚活ファシリテーター設置要項」・「婚活サポート企業登録要項」を定められて活動！</li> </ul>



所感

女性リーダーの本気度が、伝わってきました。  
山口県の婚活支援事業とマッチングして事業展開を進めるべきと感じました。